

2023年度



わたしたちは北国の四季を収穫します。



音更町農業協同組合

- 本部事務所・企画室 T080-0101 河東郡音更町大道5丁目1番地 TEL0155-42-2131
- 施設センター T080-0104 河東郡音更町新道5丁目1番地 TEL0155-32-4127
- 販賣工場 T080-0341 河東郡音更町字音更西2線13番地6 TEL0155-42-2203
- 第1スタンド T080-0101 河東郡音更町大道1丁目2番地 TEL0155-31-4030
- 第2スタンド T080-0301 河東郡音更町木野大道西19丁目8番地 TEL0155-31-4030
- 農産センター T080-0105 河東郡音更町新道北1丁目1番地 TEL0155-42-2960
- 南昆繁理センター T080-0341 河東郡音更町字音更西2線15番地4 TEL0155-42-3021
- 苗種センター T080-0335 河東郡音更町希望が丘1番地 TEL0155-42-8724

□ <https://www.ja-otofuke.jp>

✉ mame@otofuke.ja-hokkaido.gr.jp



組合員の皆様やJAの活動が
SDGsのゴールに繋がります
JAおとふけは、持続可能な開発目標
(SDGs)を支援しています。



JAおとふけ
公式サイト



YouTube
公式チャンネル



音更町農業協同組合

小麦の穂(7月中旬)



農産センター(小麦の受入)



代表理事組合長　土田　純雄

JJAおとふけは、昭和23年4月14日音更村農業協同組合として設立され、大地に根ざした大型総合農協として発展してきました。

当JAは、十勝平野の中心部に位置し、小麦、豆類、馬鈴薯、てん菜を中心とした畑作物18,870haを作付けし、日本でも有数の穀倉地帯を担っています。また、人参、長芋、玉葱、ブロッコリーなどの野菜振興にも力を入れています。

酪農、畜産も盛んであり、生乳は年間約4万6千トンを生産しています。

利用施設では、小麦の品質向上と効率化を目指して、平成23年に小麦乾燥調製貯蔵能力の大幅アップを図り、現在の小麦の受入体制を構築しました。

平成30年に豆類貯留調製施設並びに低温貯蔵施設を増設し、豆類の更なる生産振興と、多様なニーズへの対応強化及び契約販売率向上などを図るとともに、高品質製品の安定生産・安定供給体制を構築しました。

青果では、平成16年に、玉葱・長芋貯蔵施設を、平成18年には人参洗浄撰別予冷施設を整備し、集出荷機能施設の充実が図られています。



●音更町概要 令和5年4月末現在

位 置	東經143°02'~143°22'北緯 42°55'~43°10'	人 口	43,091人
面 積	466.02平方km	世 带 數	20,826世帶
東 西	28.7km		
南 北	32.8km		

平成27年には、家畜糞尿や野菜残渣から再生可能エネルギーを生産するバイオガスプラントを建設し、平成28年より売電を開始しました。この施設の稼働は臭気対策、環境汚染防止対策とともに循環型社会の実現を図るものとなります。

労働力不足に対応した労働力支援、有機物や石灰資材などの土壤改良資材の投入や暗渠排水をはじめとした土壤基盤整備、耕畜連携の推進、スマート農業の推進などを積極的に行っています。

地域にJA及び農業を理解してもらう活動として、ホームページや公式Youtubeチャンネルの開設、道路わきのゴミ拾いなどボランティア活動も積極的に行ってます。

純農村地帯の中で、金融事業にも力を入れており、組合員の経営安定、生活向上はもとより、地域との共存共栄による協同組合事業を通して地域の発展のため鋭意努力しています。

●組合概要

設立 昭和23年4月14日
地址 竜更町一丁目

正組合員戸数 499戸

正組合員1,068名

出資金 43億789万円

自己資本比率 27.25%
役 職 員 理事15名·監事5名

職員193名
(男性143名・女性50名)

常設委員会 総務委員会6名
農業委員会6名

地域農業振興協議会 13 地域

組合員組織

- 地域農業振興協議会
 - 農業機械協議会
 - 女性部
 - 篠記青色普及会
 - 青年部
 - 年金友の会
 - 小麦生産振興会
 - 音更町酪農振興会
 - 馬鈴しょ生産振興会
 - 音更町和牛生産改良組合
 - 甜菜対策協議会
 - 音更町馬事振興会
 - そ菜生産振興会

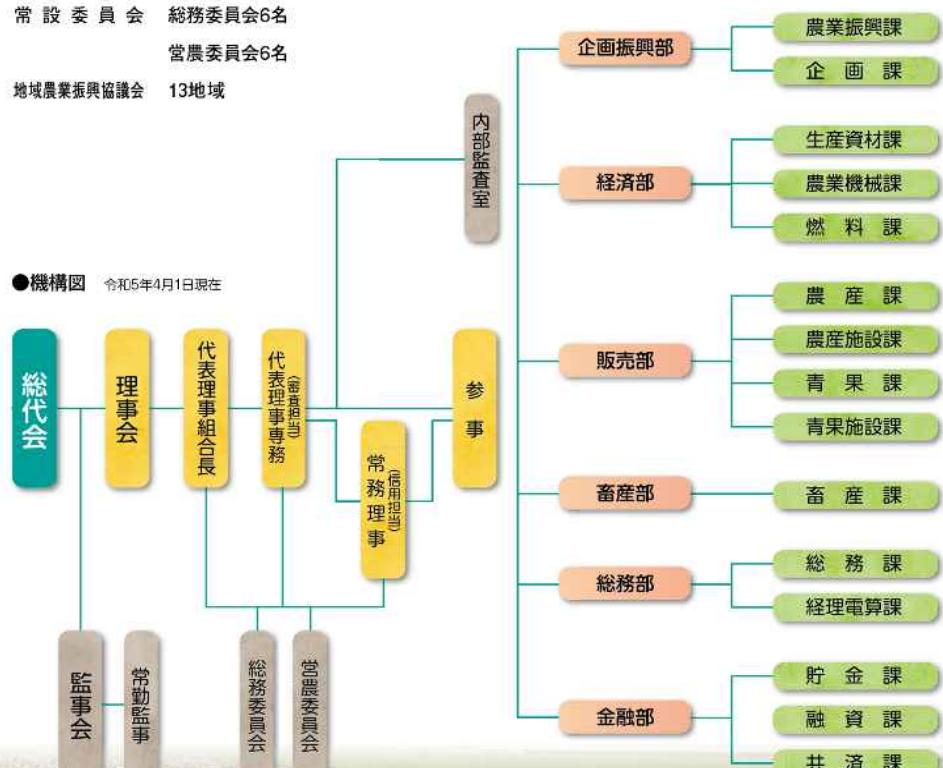
常設委員会 総務委員会6名

農委會6名

地域農業振興協議会 13 地域

地域農業振興協議会 13地域

●機構図 令和5年4月1日現在



●理念

農業の持つ「つくる」「たべる」「くらす」の要素を協同の力、意志の結集により「つなぐ」ことで
「持続可能な地域農業と豊かな地域社会の実現」を目指します。



●シンボルマーク



「農業者的心」・「JAおとふけの心」・「消費者的心」を表す3つのハートの重なりから構成され、外に向かって広がるような造形は、「前進・発展・繁栄」を表現しています。

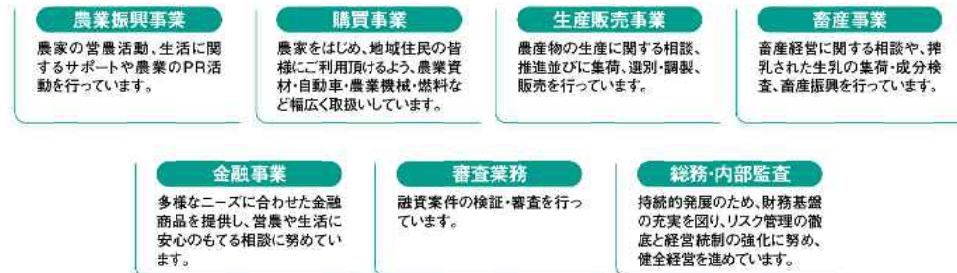
●キャッチコピー

わたしたちは北国の四季を収穫します。



●JAおとふけの事業

JAおとふけは、地域の農業振興に向けて農家を対象とした事業を基本としつつ、地域社会に向けて幅広い事業を展開し、音更町の人々・地域に貢献できるよう取り組んでいます。

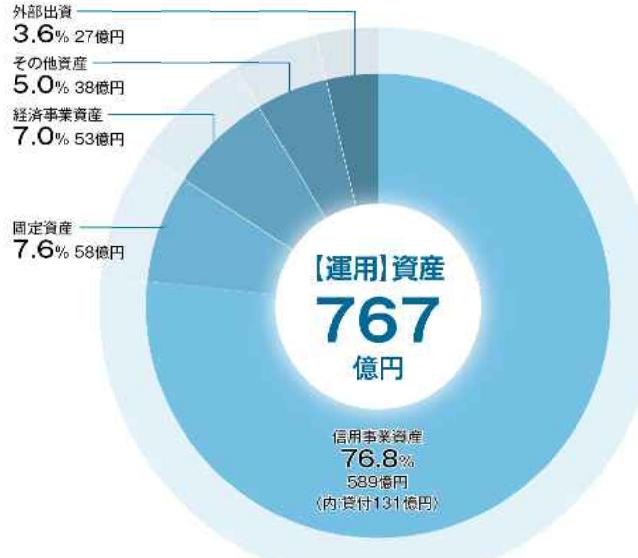


Results

主要事業実績

財務の構成

令和4年度実績
注)記載金額及び面積は、億円・ha未満を切り捨ててありますので、合計すると相違する場合もあります。



**【運用】資産
767
億円**

信用事業資産
76.8%
589億円
(内:貸付131億円)

設備借入金
0.3% 2億円
共済事業負債
0.3% 2億円

その他負債
1.5% 11億円
経済事業負債
6.8% 52億円

純資産
14.1%
107億円

**【調達】
純資産・負債
767
億円**

信用事業負債
77.0%
591億円
(内:貸金589億円)

その他
2.3% 449ha
そ菜
4.7% 854ha

**総耕作面積
18,588
ha**

馬飼い
10.1%
1,953ha
飼料
13.4%
2,434ha
てん菜
14.3%
2,611ha
豆類
24.3%
4,411ha
小麦
30.9%
5,872ha

そ菜耕作面積内訳
長芋 72ha 南瓜 45ha
玉葱 72ha オンコロ 116ha
人參 489ha その他 57ha

定期生命
0.5% 4億円
年金共済
0.5% 4億円
こども共済
4.9% 42億円
医療共済
0.2% 1億円
その他
0.1% 0億円

**長期共済保有高
867
億円**

建物更生共済
35.1%
304億円

終身共済
47.9%
415億円



**購買品供給高
93
億円**

生産資材内訳
肥料 22億円 飼料 14億円
農薬 13億円 その他 6億円
種苗 2億円



**販売品取扱高
260
億円**

営農継続支払
【支重化】地盤改良工事費
21億円
33億円





小麦

十勝平野の中心で、小麦・豆類・馬鈴しょ・てん菜を中心に日本有数の穀倉地帯を担う音更町。人参・長芋・玉葱・ブロッコリーをはじめとした野菜振興、酪農・畜産にも力を入れ、JAおとふけブランドとして全国に送り出しています。



馬鈴しょ

生食用の「男爵薯」、「メーケイン」と加工用の「トヨシロ」、「きたひめ」、でんぶん原料の「コナヒメ」などが有名です。



人参

品質の高さに加え、選果工程で人参を冷やすことで鮮度と栄養分を保持する“コールドチェーン”がポイントです。



玉葱

長期間にわたって出荷するため、極早生から貯蔵性に優れた品種まで、バランス良く栽培しています。



大豆

音更で栽培されている大豆の主なものは、イソフラボン含有率が多い「音更大袖振大豆」、「ユキホマレ豆」などがあります。



小豆

風味豊かな音更産小豆は、低温貯蔵庫で保管され、徹底した品質管理の下、「エリモショウズ」などの良質な小豆を栽培しています。



黒豆

栄養素が豊富で、健康維持に不可欠な黒豆。音更では、粒が大きく、煮崩れの少ない「いわいくろ」を中心栽培しています。



金時豆

音更産の金時豆は、粒の大きさ、皮の柔らかさなど食品加工業界で高く評価されています。



長芋

良質な長芋を安定生産するため、音更では青果品と種子は別々の農家が栽培しています。



ブロッコリー

音更の気候はブロッコリー生産には好環境です。日本有数の産地としても知られています。



牛乳

酪農家が日々努力し、健康で元気な乳牛を育てています。そんな牛たちから搾られた生乳は、風味豊かで栄養満点!



肉牛

冷涼な気候と栄養満点の牧草が揃う好条件が「音更町すずらん和牛」というブランド牛を生みました。

JAおとふけは、音更農業の発展と組合員の生活向上とともに、地域の人びと、地域社会への貢献に向けて食育・農育活動やイベントの開催、ボランティア活動などの様々なサービスを通じて、地域の皆様に親しまれる活動を積極的に展開しています。また、各種団体への寄付、イベントへの協賛などを通して、地域活動を支援しています。



親子料理講習会

音更町内の小学生を対象とした親子料理講習会を開催。音更産食材の美味しさと調理方法について親子で楽しく学びます。



親子わくわく農業体験

消費者との交流を目的に、農家の若者たちで組織する青年部主催の農業体験。野菜収穫や音更産食材の料理体験を行っています。



音更ふるさと農村絵画コンクール

音更の農業や農村の風景を描くことで、その素晴らしさや大切さを理解してもらうことを目的に主催しています。



食農教育総合プログラム

音更町と協力して、子どもたちに食と農のつながりや、畑で作物を作る楽しさ、面白さを伝えます。作物の成長を通じて農業に興味を持ってもらいます。



地域特産品イベントに参加

音更町で行われる地域イベントにも積極的に参加し、音更産食材の美味しさや安全性をPRしています。



女性部まつり

女性農業者間の交流を目的に、地域ごとに手作りの加工品や手芸品を出品販売。売上げの一部は社会福祉協議会へ寄付します。



おとふけ給食

子どもたちに給食を通して、音更産の農畜産物の美味しさ、安全性を知つてもらう音更町の取り組みに協力しています。



地域の清掃活動

クリーンタウン音更の会に加盟し、清潔で住み良いまちづくりを目指し、町内の清掃活動に積極的に参加しています。



社会福祉活動

音更町社会福祉協議会の活動に賛同し、古切手・ペルマーク・書き損じはがきの収集やカードローン事業、各種行事等の協賛を行っています。

Institutions

主要施設

① 本部事務所・金融店舗（昭和39年建設）



① エーコープおとづけ店（株）ホクレン商店／1,490m²
(昭和57年建設)



④ 北海道運輸局長指定整備工場／2,304m²
洗車・清掃・板金・塗装場
(平成26年建設)



③ 農産センター（昭和57年建設）



施設・事業所

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ① 本部事務所・金融店舗 | ② 第1スタンド |
| ① GPS基地局（本部事務所） | ③ 農産部事務所 |
| ① 資材センター | ④ 北海道運輸局長指定整備工場 |
| ① エーコープおとづけ店（ホクレン商店） | ⑤ 第2スタンド |
| ② 農産センター | ⑥ 燃料備蓄所 |
| ② GPS基地局（農協サイロ） | |



① 資材センター（令和4年建設）



⑤ 第2スタンド／2,635m²（昭和48年建設）



② 第1スタンド／1,107m²
(昭和43年建設)

① 燃料備蓄所 収容力／1,200㎘
(昭和55年建設)

② 農産センター（麦穀類収容力／48,000t）



豆類貯留調製・低温貯蔵施設／60,000袋（平成30年建設）



小麦サイロ（貯蔵施設）／9,000t (1,125t×8基 平成23年建設)
9,000t (500t×18基 平成20年建設)



農産センター事務所（平成27年建設）



小麦計量施設（平成23年建設）



大豆貯留調製施設・低温貯蔵施設／100,000袋（平成13年建設）



小麦乾燥調製施設（平成20年建設）

主要施設

④ 青果管理センター



人参選果ライン



玉葱・長芋貯蔵施設(平成16年建設)



青果管理センター事務所(平成3年建設)



リサイクル土生成施設(平成24年建設)



長芋洗浄選別施設(平成3年建設・平成27年設備更新)



長芋選果ライン

⑥ 種子馬鈴しょ施設



種子馬鈴しょ共同選別施設(平成21年建設)



種子馬鈴しょ種子長芋消毒施設(平成21年建設)



種子馬鈴しょ貯蔵庫 5棟 / 3,249m²
(昭和54年建設)

⑪ 共愛牧場



⑫ バイオガスプラント

処理能力42t/日・発電能力最大150kwh(平成27年建設)



原料倉



ガスホルダー



消化液貯留槽・発電機

GPS基地局

町内6ヶ所(平成27年建設)



GPS自動採收システムを活用した「なたね」の収穫風景(音更町豊田地区)
平成29年度「とかち農業・農村フォトコンテスト」グランプリ作品